



# わが家の防災メモ

記入  
しよう!

避難場所

避難所

家族が離れた時の集合場所

## 家族・親戚・知人の連絡先

氏名	生年月日	血液型	連絡先(会社・学校等)	電話番号	備考

## 緊急連絡先

洞爺湖町役場 企画防災課企画防災・広報統計グループ	0142-74-3004
西胆振消防組合 洞爺湖消防署	0142-76-2119

## 緊急通報は あわてず 早く 正確に！

「火事です。洞爺湖町 町番号 です。  
が燃えています。目標は の 側です。」  
※ 逃げ遅れた人の有無は、通報時にいち早くお知らせ下さい。

火事・救急は 119番 警察は 110番 海上の事故・事件は 118番

### ペットの管理

は飼主が責任を持って行いましょう！

知っておこう！ 災害時の備え

[餌・飲用水]  
予備の食器とともに、最低1週間分は飼い主が責任を持って用意してください。

[移送用具]  
ケージ、バリケン、キャリングケース、バスケットなど、安全にペットを移送できる道具を1匹につき最低1個は飼い主が用意しておきましょう。

[置札・名札]  
ペットの名前、飼い主の氏名や連絡先などを記入してペットの首輪などに付けておきましょう。

### 「災害用伝言ダイヤル171」を活用下さい！

災害発生時は、安否確認、問合せなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が続きます。NTTでは、災害時に限定して利用可能な「災害用伝言ダイヤル」を提供しています。(一般電話、携帯電話、PHSから利用できます。)

メッセージを録音 「171」「1」「自分の電話番号」

メッセージを再生 「171」「2」「自分の電話番号」

※一般電話(ご自宅)は録音・再生とも市外局番から

携帯電話では、災害用伝言板が開設されます。震度6以上の地震と大きな災害が生じた場合、携帯電話各社のトップ画面に災害伝言板が開設されます。

保存版

# 防災ガイドブック

P.3 非常用品持ち出しリスト

P.4 熊本による災害

P.8 地震による災害

P.10 風や雨による災害

P.12 避難場所位置図



## 防災ガイドブックの使い方

この防災ガイドブックでは、日ごろから家庭でできる防災への備え、まさかのときの避難方法など身近な防災情報を紹介しています。家族みんなで読んで、防災対策に役立ててください。

### ひと目で分かる防災情報



必要な情報がどこに書いてあるのかすぐ分かるように、災害時の注意点、防災時の情報、防災メモなどを4つのマークで紹介しています。

洞爺湖町







知って  
おこう!

## 噴火の前ぶれを知る

2000年の噴火時は前ぶれ(前兆地震)をとらえ、事前に避難することができました。有珠山はマグマの性質や過去の噴火事例から考えて、前ぶれをとらえることができる活火山です。噴火の前ぶれを理解し、一人ひとりが有珠山の見張り役になりましょう。

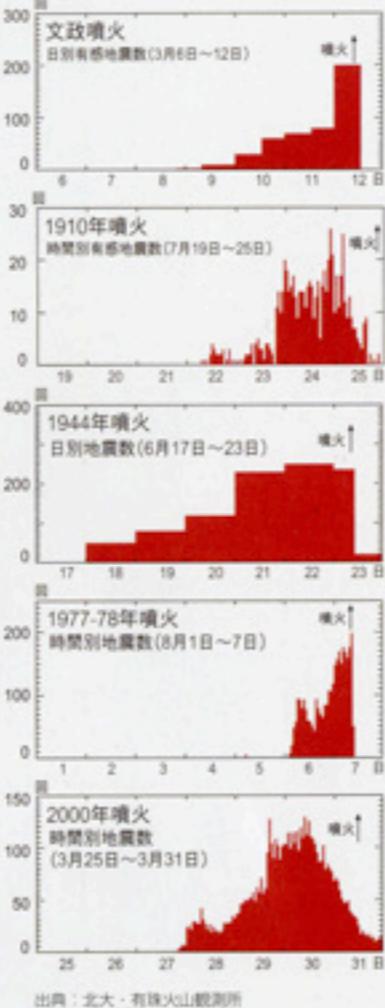
### 前兆地震パターン

過去の噴火ではいずれの場合も噴火に先立ち、有感地震が多数発生しました。右のグラフは過去の前兆地震の推移を示しています。前ぶれから噴火発生までの時間は、3日程度が多く、32時間と短い場合(1977~78年噴火)もあります。前兆地震がさらに短くても対応できるよう、普段から注意しておきましょう。

噴火の前ぶれとして次の現象もあります。



### 過去の前兆地震の推移



## 噴火に備えて

過去の避難状況や自然災害の特徴を調べておくことが大事です。災害ごとの避難場所を確認しておきましょう。また、家族との集合場所も確認しておくとよいでしょう。



自然災害の特徴について  
知っておきましょう。

家族で避難場所を  
確認しておきましょう。

非常用品や食料の備蓄を  
用意しておきましょう。

ペットの避難について  
決めておきましょう。



注意  
しよう!

## 噴火がはじまつたら…

あわてず、落ち着いてすみやかに行動することが大切です。戸締り、火の元、電気の確認を迅速に行い、お年寄りや赤ちゃん、体の不自由な人の避難を助けましょう。

避難時はこんな格好で…。



降灰を吸い込まないよう、口や鼻を覆います。かけや川の近くはなるべく避けて避難しましょう。

以下のことに注意しましょう。



デマに惑わされるのは禁物。



気象台や測候所が発表する火山情報に注目を。



テレビやラジオ、行政機関の広報をよく聞いて正しい情報を得ましょう。



町長から避難勧告などの指示があれば、それに従ってください。



確認  
しよう!

## 気象庁の噴火警戒レベル

噴火警戒レベルとは、火山活動の状況を噴火時等の危険範囲や必要な防災対応を踏まえて5段階に区分したもので、気象庁の噴火警報及び噴火予報で発表されます。

予報警報	レベル	火山活動の状況	住民等の行動 <sup>①</sup>
噴火予報	レベル1 (平常) 火口内等	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内での火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	通常の生活
火口周辺警報	レベル2 (火口周辺規制) 火口周辺	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生。あるいは発生すると予想される。	通常の生活(今後の火山活動の推移に注意。入山規制)、状況に応じて災害時要保護者の避難準備等。
	レベル3 (入山規制) 火口から居住地域まで	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生。あるいは発生すると予想される。	
噴火警報	レベル4 (避難準備) 居住地域及びそれより火口側	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警報が必要な居住地域 <sup>②</sup> での避難の準備、災害時要保護者の避難等が必要(状況に応じて対象地域を判断)。
	レベル5 (避難) 居住地域及びそれより火口側	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生。あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域 <sup>②</sup> からの避難等が必要(状況に応じて対象地域や方法等を判断)。

<sup>①</sup>住民等の主な行動には、代表的なものを記載。

<sup>②</sup>避難または避難準備の対象として地域防災計画等に定められた地域。

ただし火山活動の状況によって具体的な対象地域はあらかじめ定められた地域とは異なることがあります。

注:表で記載している「火口」は、噴火が想定されている火口あるいはそれらが出現しうる領域(火口出現領域)を意味します。

あらかじめ噴火場所(地域)を特定できないものは、地盤活動域を火口領域と想定して対応。



知って  
おこう!

### 長期化する避難生活のために

2000年噴火では一部の地域で避難生活が長期化しました。火山噴火や大地震の発生時には避難が長期化することも珍しくありません。過去の教訓を風化させないためにはどうすればよいのか考えてみましょう。

#### 教訓例 (2000年噴火の例)

- いつも飲んでいる病院の薬がなくなってしまった。
- メガネ(老眼鏡)を忘れて不自由した。
- 衣服(夏服や下着)の予備が不十分だった。
- 事前にペットを遠くの親戚に預けておけばよかった。
- パソコン等の電子データを忘れた。
- ゲームなど気分転換ができるものを子どもに持たせておけばよかった。
- 自分の避難先を日ごろから覚えていて良かった。
- 急な避難だったので農作物のことを考える時間がなかった。



# 地震による災害

## 突然の地震に備えて



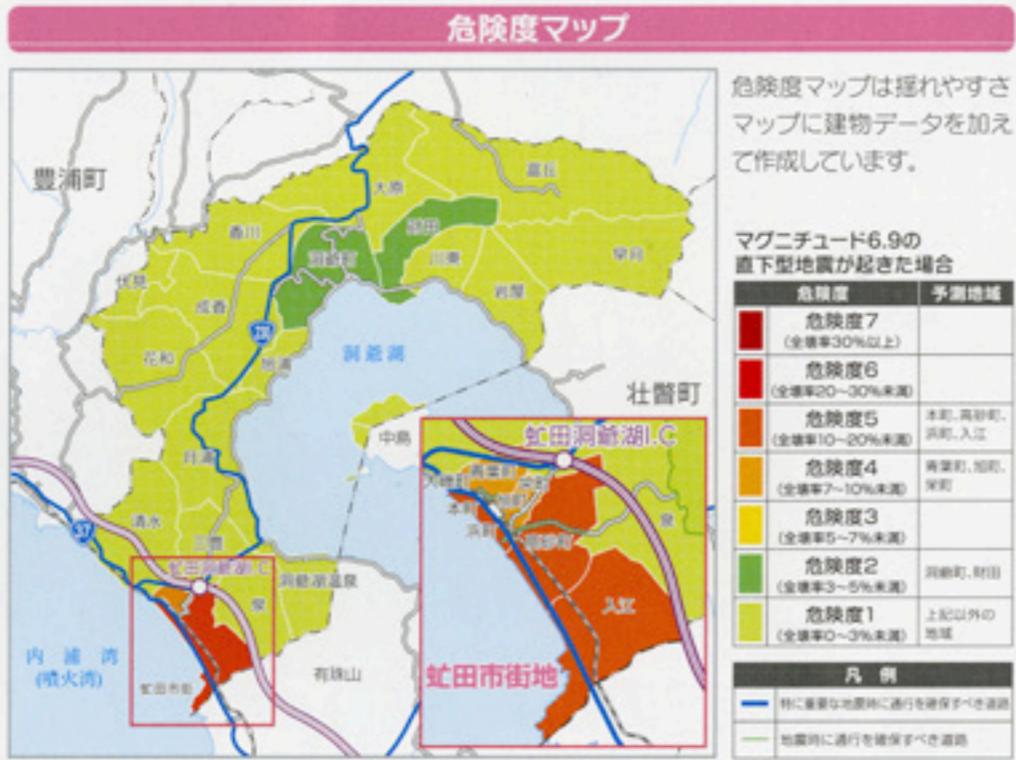
確認  
しよう!

### 直下型地震危険度マップ

地震によって建物が全壊する割合を字界ごとに色分けして表しました。危険度の数値が大きくなるほど、建物が受けける被害の割合も大きくなります。

#### 揺れやすさマップ

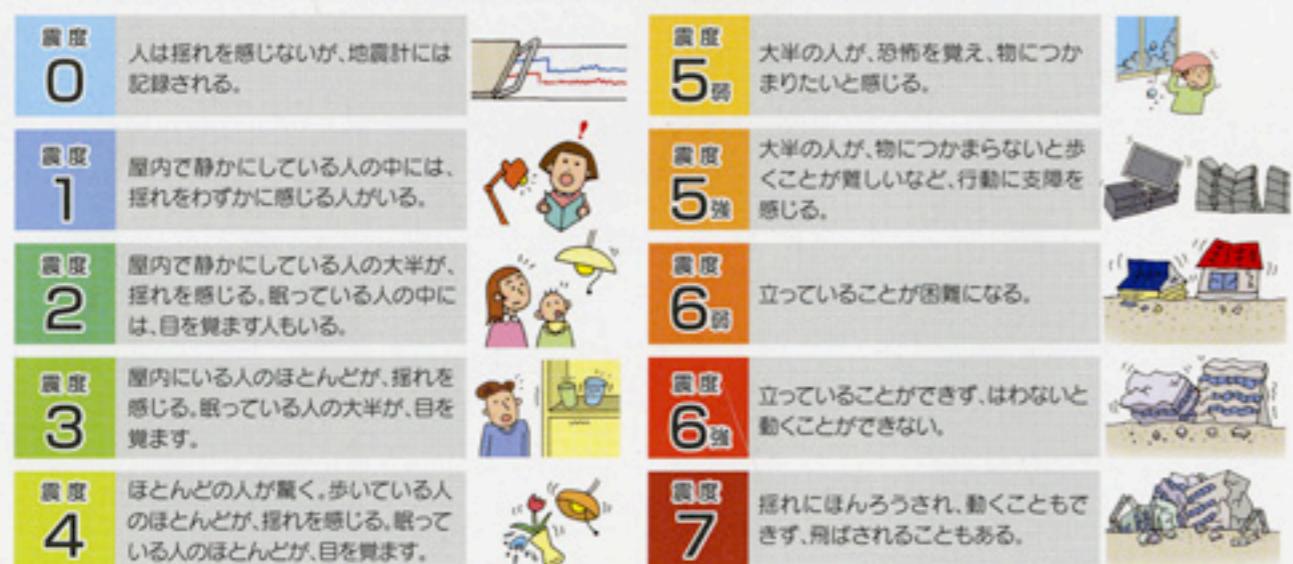
地震時の地盤の揺れやすさを字界ごとに震度で表したものです。



知って  
おこう!

### 地震の揺れと被害の規模

火山噴火の前兆地震は震源が近いために揺れが大きいことが予想されます。また、火山噴火以外の原因でも地震は発生します。海岸付近では地震による津波にも注意が必要です。



確認  
しよう!

### 地震の備え

地震は突然やってきます。日ごろからの対策・備えによって地震が発生したときはあわてず落ちついて行動しましょう。また、地域の防災関係機関の指示に従って行動してください。

#### あなたの家はだいじょうぶ?

1. 外壁の落下・崩の倒壊の危険はありませんか?
2. 家具が転倒するおそれはありますか?
3. 高いところに重いものを置いていませんか?
4. 食料や水などの備蓄はしていますか?
5. いざというときのために、家族で話していますか?



注意  
しよう!

### 地震が起きたらこう対処

地震が起きたら、最低限行ってほしい対処方法を紹介します。家族全員で徹底し突然の地震が来ても実践できるよう、ときどき訓練を行うのもよいでしょう。

1. まず身を守る
2. 火の始末は忘れずに
3. 出口を確保する
4. 家の安全確認をする
5. 近隣の家の安否
6. 外を歩いていたら
7. デパートなどにいる時は
8. 車を運転中の場合は



注意  
しよう!

### 津波の備えと対策

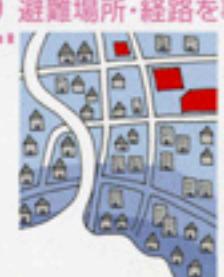
津波から身を守るためにには、日ごろからの災害に対する備えが大切です。避難場所での生活に最低限必要な準備をし、また負傷したときに応急手当ができるように準備しておきましょう。

#### 津波情報の把握

気象庁は、地震発生後に津波が発生するおそれがある場合に、地震が発生してから約3分を目標に、津波警報、津波注意報を発表します。その内容は、津波の到達予想時刻や津波の高さなどです。これらの情報は、テレビ・ラジオ、新聞やホームページなどに掲載されます。



1. 高い所へ逃げる
2. 避難場所・経路を事前に把握



避難場所・避難経路や緊急連絡先を家族で確認しておきましょう。



# 風や雨による災害 土砂災害・台風などへの備え

## 土砂災害危険箇所図

確認  
しよう!

土砂災害の多くは雨によって発生します。日常的に家族全員で避難場所や避難ルートを決め、定期的に確認しておきましょう。



凡例	
水防区域	
高波・高潮・津波等危険区域	
市街地における低地帯の浸水予想区域	
地すべり・かげ崩れ等危険区域	
土石流危険渓流	
国立公園区域	



知って  
おこう!

## 風水害はこんな災害

大雨・台風によって浸水やがけ崩れ、土石流などを引き起こすことがあります。  
気象情報に注意して、早めに対策を取りましょう。

### 土砂災害

#### がけ崩れ

急ながけ、山の斜面が崩れ落ちること。



#### 土石流

谷地や川などに水を含んだ大量の土砂が流れること。



#### 地すべり

斜面の一部がすべり落ちること。



### 集中豪雨

短期間のうちに狭い地域に集中して雨が降ることを集中豪雨といいます。狭い地域に突発的に降るため、がけ付近や造成地、局状地などは気象情報に十分注意し万全の対策をとるようにしましょう。

#### 雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	湯のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	思苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる。

出典：気象庁

### 台風

日本列島には毎年多くの台風が接近し、上陸することもあります。強風と大雨による大きな被害を引き起こす台風。発生時には台風の進路や大きさなどの情報に注意し、被害を最小限にとどめるよう備えてください。台風の大きさは「風速15m/s以上の半径」、「最大風速」で表されます。

階級	最大風速
強い台風	33m/s以上~44m/s未満
非常に強い台風	44m/s以上~54m/s未満
猛烈な台風	54m/s以上

出典：気象庁



## 風水害の備え

確認  
しよう!

突然の「まさか！」に備えて  
事前にチェック

集中豪雨は予測できないことがほとんどです。大雨情報を耳にしたら早めの準備が必要です。とくに水害の起こりやすい土地では、いつでも避難できるように備えてください。



### 風水害のときの心得

- 避難勧告が出ていないても、大雨警報が発令されたり、周辺地域で避難勧告が出たりしたときは、自動的に避難行動への準備を行ってください。
- 車で避難する場合は浸水していない道路を利用します。早めの避難が必要です。
- 浸水しているところを避難する際は、お年寄りを担いだり、幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保しましょう。避難行動は常に2人以上で行き、水に流されないようロープなどでお互いにつながりましょう。
- 避難路には高い道路を選び、道路わきのスノーボールなどを目安にし避難してください。また側溝や水路に落ちないよう、長い棒で確認するなど、足元に十分注意しましょう。
- 河川沿いの道路を使った避難は避けます。山沿いの道路を使って避難する場合は土砂災害にも注意しましょう。
- 役場や消防署が発する避難の呼びかけは、風雨の音で聞こえにくい場合があるので注意が必要です。
- 家財を移動させるために時間がかかり、指定の避難場所へたどり着くのが困難になった場合は近くの頑丈な高い建物に緊急避難を。避難時は食料2~3食分、下着、ロープ、懐中電灯、探り棒、貴重品などを携帯してください。



## 風水害の対策

注意  
しよう!

ガイドブックの避難場所位置図に示されたあなたの近くの避難場所を確認し、すみやかに行動できるよう準備を進めておきましょう。

状況を把握し、すみやかな避難を目指して。

避難指示などの種類	町からの呼びかけ内容	るべき行動
①避難準備	○○地区の皆さん! 大雨洪水警報が出ました。 ○○川が増水しています。 避難の準備をしてください。	 いつも避難できるよう、準備しておきましょう。ラジオやテレビの放送、役場からの広報に注意します。お年寄りや子供は早めに避難させましょう。
②避難勧告	○○地区の皆さん! ○○川の堤防が決壊する恐れがありますので、避難をはじめてください。	 家族や近所の人などお互いに助け合いながら指定された場所まで、すみやかに避難はじめましょう。
③避難指示	○○地区の皆さん! ○○川の堤防が○○で決壊する危険があります。ただちに、○○小学校に避難をしてください。	 指定された避難場所へ、ただちに避難しましょう。

出典：内閣府

# 避難場所位置図（虹田地区）

This figure is a topographic map of a coastal region, likely a bay or inlet. The map includes contour lines representing elevation, roads, and water bodies. Numerous locations are marked with numbered labels (1 through 27) and some with crosses (X). Key labeled areas include:

- Highway 230
- 道道洞爺湖線 (Road 24)
- 道道洞爺湖畔岸田線 (Road 11)
- 道道洞爺湖畔花和線 (Road 8)
- 道道洞爺湖畔新道 (Road 27)
- 新道 (New Road)
- 海岸 (Coast)
- 花和 (Kawachiwa)
- 岸田 (Kaneda)
- 洞爺湖 (Abashiri Lake)
- 新道 (New Road)

A scale bar at the bottom left indicates distances from 0 to 3000 meters. A north arrow is located in the upper left corner.

**洞爺湖**

**広域避難場所**

地区	因面番号	広域避難場所名	所在地
本町	①	虻田小学校グラウンド	栄町59
	②	虻田中学校グラウンド	入江190
	③	虻田高校グラウンド	高砂町127
	※	虻田漁港大磯分区	大磯
温泉	④	洞爺湖温泉中央公園	洞爺湖温泉124
	⑤	洞爺湖温泉中学校グラウンド	洞爺湖温泉187
	⑥	洞爺湖温泉公園	洞爺湖温泉142
月浦	⑦	洞爺湖温泉小学校グラウンド	月浦44
	⑧	旧花和小学校グラウンド	花和170

**避難所**

地区	因面番号	施設名称	所在地
清水	①	清水集会所	清水60
	※②	あぶたふれ合いセンター	本町58
	※③	本町3区集会所	本町16
	④	青葉集会所	青葉町5
	⑤	虻田小学校	栄町59
	⑥	洞爺湖町健康福祉センター	栄町63
	⑦	洞爺湖町健康福祉センター別館	栄町63
	※⑧	本町生活館	本町1
	※⑨	あぶた体育館	高砂町18
	※⑩	赤川集会所	高砂町18
	※⑪	あぶたコミュニティセンター	高砂町37
	⑫	あぶた母と子の館	高砂町44
	⑬	コスモス団地集会所	高砂町109
	⑭	高砂集会所	高砂町98
	⑮	虻田高校	高砂町127
	⑯	入江4区集会所	入江190
⑰	虻田中学校	入江190	
⑱	入江集会所	入江175	
⑲	泉集会所	入江224	
⑳	泉公園通り集会所	泉23	
温泉	㉑	洞爺湖文化センター	洞爺湖温泉142
	㉒	とうや湖コミュニティセンター	洞爺湖温泉142
	㉓	洞爺湖温泉中学校	洞爺湖温泉187
	㉔	のぞみ団地集会所	洞爺湖温泉190
月浦	㉕	月浦集会所	月浦44
	㉖	洞爺湖温泉小学校	月浦44
	㉗	旧花和小学校	花和170

**洞爺湖温泉市街図**

2万5千分の1地形図「洞爺湖温泉」を使用

**虻田市街図**

2万5千分の1地形図「洞爺湖温泉」を使用

**防災関連施設**

例	説明
①	広域避難場所
②	避難所
※③	津波の場合不適な避難所
■	高速道路
■	国道
■	道
●	役場・支所(災害対策本部)
◎・△	消防署・分署・支所
◎・△	警察署・派出所・交番
④	ヘリポート
○	水防区域
---	高波・高潮・津波等の危険区域
●	市街地における低地帯の浸水予想区域
▲	危土陥没区域
○	土石流危険区域
△	急傾斜地崩壊危険箇所
□	地すべり危険箇所

**避難場所位置図**

広域避難場所			
地区	画面番号	広域避難場所名	所在地
本町	①	虻田小学校グラウンド	柴町59
	②	虻田中学校グラウンド	入江190
	③	虻田高校グラウンド	高砂町127
	※	虻田漁港大磯分区	大磯
温泉	④	洞爺湖温泉中央公園	洞爺湖温泉124
	⑤	洞爺湖温泉中学校グラウンド	洞爺湖温泉187
	⑥	洞爺湖温泉公園	洞爺湖温泉142
月浦	⑦	洞爺湖温泉小学校グラウンド	月浦44
花和	⑧	旧花和小学校グラウンド	花和170

避 難 所			
地区	番号	施設名称	所在地
清水	①	清水集会所	清水60
本町	②	あぶたふれ合いセンター	本町58
	③	本町3区集会所	本町16
	④	青葉集会所	青葉町5
	⑤	虻田小学校	栄町59
	⑥	洞爺湖町健康福祉センター	栄町63
	⑦	洞爺湖町健康福祉センター別館	栄町63
	⑧	本町生活館	本町1
	⑨	あぶた体育館	高砂町18
	⑩	赤川集会所	高砂町18
	⑪	あぶたコミュニティセンター	高砂町37
	⑫	あぶた母と子の館	高砂町44
	⑬	コスマス団地集会所	高砂町109
	⑭	高砂集会所	高砂町98
	⑮	虻田高校	高砂町127
	⑯	入江4区集会所	入江190
	⑰	虻田中学校	入江190
	⑱	入江集会所	入江175
	⑲	泉集会所	入江224
	⑳	泉公園通り集会所	泉23
温泉	㉑	洞爺湖文化センター	洞爺湖温泉142
	㉒	とうや湖コミュニティセンター	洞爺湖温泉142
	㉓	洞爺湖温泉中学校	洞爺湖温泉187
	㉔	のぞみ団地集会所	洞爺湖温泉190
月浦	㉕	月浦集会所	月浦44
	㉖	洞爺湖温泉小学校	月浦44
花和	㉗	旧花和小学校	花和170

**防災関連施設**

①	広域避難場所
②	避難所
×	津波の場合不適な避難所
■	高速道路
■	国道
■	道
●	役場・支所(災害対策本部)
◎・△	消防署・分署・支所
◎・×	警察署・派出所・交番
◎	ヘリポート
○	水防区城
---	高波・高潮・津波等の危険区域
○	市街地における低地帯の浸水予想区域
○	土石流急険渓流
○	急傾斜地崩壊危険箇所
○	地すべり危険箇所

**危険区域**

**危土陥砂区災害**

# 避難場所位置図(洞爺地区)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号)平22道標第42号

